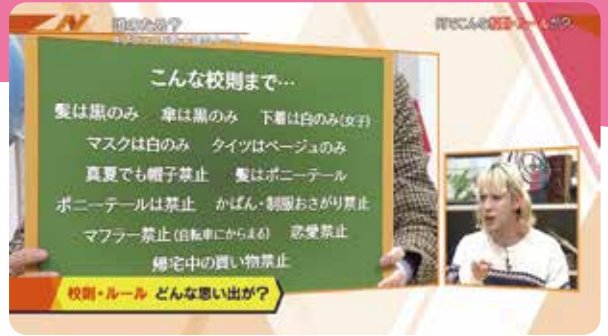


ナビゲーション

誰のため？

#ブラック校則#謎のルール

放送日：2020年3月6日 放送時間：25分



対象校種 中学校 高校

対象教科 総合 学級活動 公民

この番組の良さ



● ブラック校則や謎のルール

「髪は黒のみ下着は白のみ」など、学校には、理不尽で時代遅れな校則やルールがあります。このようなきまりをなぜか学校は変えようとしてきませんでした。番組では教師に本音を聞きます。

校則を変えようと挑む岐阜県の高校生徒会、でも「自由は困る」といいます。どうしてなのでしょう。

タレントのりゅうちえるさん、金城学院大学の原田琢也教授がこの問題について、強い思いを伝えます。

● 理不尽なきまりを変えるために

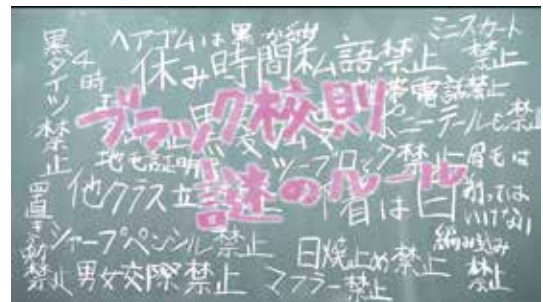
学校のブラック校則や謎のルールの多くは、1980年代に学校が荒れたときにトラブルを回避するために厳しい校則が必要として作られたものでした。

令和の時代、理不尽で時代遅れなルールに触れたとき、生徒も教師も保護者も地域も無責任であってはいけないのです。みんなが関心をもてば校則は変わります。番組ではこうした考えを伝えてくれます。

番組活用のポイント

● あなたの学校のきまりは？

番組では、「4時禁」という謎のルールや「靴下の色」についての校則を取り上げています。「4時禁」、「靴下の色」を取り上げ、どう思うか、子どもたちに議論させてみませんか。謎のルールは、身近にも存在していないでしょうか。番組の内容を、生徒が身近なきまりについて考える導入にすることができます。



● 生徒の自立心を育てる

下着の色や髪を細かく規制する不合理な校則は各地の学校にあり、人権侵害に当たると批判の声が上がっています。「ブラック校則」の問題化を受け、文部科学省は2021年6月に社会や時代の変化に合わせて積極的に対応するよう求める通知を都道府県教育委員会などに発出しました。児童生徒の意見を反映することが主体性を育む機会にもなると強調されています。最終的に校則を決める権限は各校の校長にあり、学校ごとに教育方針が異なるため、統一的な基準は示されていません。人権的な観点などからも納得できない校則は生徒が自分たちで議論し変えていくことが望まれます。

この番組は、学校の校則やルールの見直しについて議論を進め、主体的に取り組める教材としての活用の可能性が広がります。





執筆者
安来市立広瀬中学校
教諭 瀬崎邦博

自分たちにも納得できるルールに変えるには どうしたらよいだろう？

対象校種 中学校 対象教科 学級活動

[授業時間 50分] 分割視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>靴下の色の指定 頭髮のツープロック禁止 女子の制服はスカートに限定 下着の色の指定 携帯電話禁止</p> <p>どうしてこんなきまりがあるのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校のきまりで、時代に合わないおかしなきまりだと思わないかを問う。 より興味・関心を高めたい場合は、ブラック校則や謎のルールについて、タブレット端末などを活用し、調べる時間を取る。
<p>番組分割視聴(最初～11分46秒) 誰のためのきまり？</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 番組を紹介し、視聴する。11分46秒で一時停止する。 番組視聴では、大事な取組や考え方と、思ったこと、心に残ったことをメモしながら視聴するように伝える。
<p>うちの学校にもある。当たり前前のきまりだと思っていた。</p> <p>先生がなぜきまりがあるか知らないの!?</p> <p>家にいてゲームをするよりも図書館や児童館で過ごした方がいい。</p> <p>学校が荒れていたときのなごりとは驚き。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「4時禁」のきまりについて、どう思うか聞く。
<p>今の時代にあっていないきまりがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考え、心に残ったことを書く時間を設定し、タブレット端末に記入するなどして、全体で共有する。
<p>自分たちにも納得できるルールに変えるにはどうしたらよいだろう？</p>	
<p>番組分割視聴(11分46秒～最後) 校則を変えるには</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 番組の続きを視聴する。 世の中にないものを作り出すにはためには何が必要か問い、グループで話し合う場を設定する。
<p>地域は困ったときに学校に指導を求めていたんだ。</p> <p>先生は大学入試や就職の面接で生徒が困らないために、指導しているんだ。</p> <p>生徒はきまりに縛られることを当たり前と考えすぎているのではないか。</p> <p>生徒会として、学校のブランド力を高めるといふ考えは大事だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考え、心に残ったことを書く時間を設定し、タブレット端末に記入するなどして、全体で共有する。
<p>校則は時代に合っているのか、本当に必要なきまりなのか、当事者の生徒自身が自分のこととして考える必要がある。</p>	
<p>理不尽なことに気づき、声を上げるようにしたらよい。それがきっかけで輪が広がり、ムーブメントになる。みんなが無責任じゃいけない。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラック校則の問題を自分に関わる問題として捉え、学びを深めようとしたか。
<p>人権意識をもち、合理的な理由のないルールは、自分たちから声を上げて変えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> この授業をきっかけに、きまりを生徒自身のこととして、主体的に考えることができるようになることを期待する。